

## 協議事項 2012年度 連携推進委員会の成果と課題

### 【議題提案者氏名、所属】

氏名：岡島 克樹  
所属：関西NGO協議会 提言専門委員

### 【議題内容】

<2012年度の委員会活動全体の振り返り>

2012年度も、慣例となった政務三役のご出席を得ながら、本委員会会議では情報共有と議論が活発に行われ、その結果、意義ある成果が見られた1年であった。

とくに「NGO活動環境整備支援事業」については、NGO・外務省でタスクフォースを組織するとともに、JANICが事務局をつとめアンケートを実施したり、外務省もスピード感ある対応を行ったりした結果、多岐にわたるスキーム改善が実現した。具体的には、「NGOインターン・プログラム」への応募条件の緩和、「NGO相談員」の選考基準の公開、「長期スタディプログラム」の名称変更等は、NGOが活動を行う上で必要な能力を一層強化するスキームの変更であり、重要な動きであった。

また、2012年度中の出来事としては、本委員会の会議が久しぶりに地方で開催されたことも特筆に値する。この会議には、開催地である大阪のみならず、全国各地に事務所を置くNGOからも参加があった。このことは本委員会における議論をより広い範囲で共有することに貢献したと思われる。

<2013年度以降に取り組むべき課題>

一方、以下の点は、時間的・時期的な制約があり、十分な議論が出来ておらず、今年度以降に検討する必要がある。

#### (1) NGO連携無償資金協力に関する検討

上述のように、本委員会は、2012年度以来、NGOと外務省とでタスクフォースを組織し、具体的なスキーム改善について議論を行ってきた。しかし、NGO連携無償資金協力について、課題認識の共有はなされたものの、詳細に検討し、具体的な改善策につなげることができなかった。そのため、2013年度は、継続するタスクフォースの中でこの件について議論を進めていく必要がある。

#### (2) NGO活動環境整備支援事業に関する中長期的検討

上記のとおり、2012年度にはNGO活動環境整備支援事業の具体的な改善が行われたが、中長期的な方向性については議論できなかった。そのため、2013年度は、現在のNGO活動環境整備支援事業のあり方について、枠にとらわれず、さらに検討を深めていくことが求められる。

#### (3) 草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP）にかかるレビューフォローアップ

GGPに関しては、過去3年間にわたり、外務省・NGOによる連携の下、NGOによる特定国におけるスキームレベルの評価というユニークな取組が行われてきた。今年度はこの取組の継続を前提に、評価が実際のスキーム改善にどのように結びついてきたのかを、合同で検証していきたい。

以上